

2022 年 3 月 24 日

## 「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の 提言への賛同について

相鉄ホールディングス株式会社

- ・ 相鉄グループの相鉄ホールディングス(株)（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）は、本日（2022 年 3 月 24 日）、気候関連財務情報開示タスクフォース（以下、TCFD）の提言への賛同を表明いたしました。
- ・ 相鉄グループでは、昨年、相鉄グループサステナビリティ方針を策定するとともに、重要課題（マテリアリティ）と非財務目標を設定し、その達成に向けて ESG/SDGs 取り組みを推進しています。
- ・ 今後は、TCFD の提言に基づき、気候変動財務情報の開示を 2022 年度より段階的に進めてまいります。

相鉄グループでは、昨年公表した長期ビジョン“Vision2030”において、経営方針の一つとして「サステナビリティの追求による長期的な企業経営の維持及び持続的な社会の実現への貢献」を掲げ、ESG/SDGs 取り組みを推進しています。併せて、グループサステナビリティ方針、重要課題および非財務目標を公表し、環境に関する重要課題には、「気候変動の緩和と適応」を掲げ、温室効果ガス排出量削減をはじめとする、定量・定性目標達成に向け取り組んでいます。

今後は、これらの取り組みに加え、TCFD の提言に基づき、気候変動が事業にもたらすリスクと機会について分析し、より一層の情報開示を進めてまいります。

### ※TCFD について

TCFD とは、Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略で、気候関連の情報開示や金融機関の対応を検討するため、主要国の中央銀行や金融関連省庁などが参加する金融安定理事会（FSB）によって 2015 年に設立されたタスクフォースです。最終報告書では、気候変動関連リスクや機会に関して、財務的影響の把握と開示を推奨しています。